

第9回アフリカ開発会議（TICAD9）

2025年8月20日（水）から22日（金）にかけ第9回アフリカ開発会議（TICAD9）が開催され、筆者は関連するイベント等に参加した。TICADはTokyo International Conference on African Developmentの略称であるが、2008年の第4回TICADよりメイン会場は横浜で開催されるようになった。2016年の第6回TICADから、2回に1回はアフリカを会場として実施されるようになったが、第9回にあたる今回は、横浜を中心とした日本で関連行事が行われた。

筆者は、20日午前にTICAD9でAPDA（アジア人口・開発協会）により招聘されたアフリカ各国の国会議員団に対し、中川雅貴国際関係部第一室長と共に、日本と世界の人口変動に関する説明及び意見交換を行った。また、TICAD9期間中、増田研 長崎大学教授を研究代表者とするアフリカ高齢化に関する文科科研研究班による展示ブースが設けられ、20日午後には来訪者との意見交換を行った。会場の横浜パシフィコには、多くのアフリカ人に付け加え、アフリカ関係の日本人も多く集い、さながら同窓会のような状況であった。また、最終日の22日には、野口英世アフリカ賞授賞式に参列した。

筆者が2012年に社人研に勤務し始めた頃は、日本のアフリカに対する政策はよく知られていなかったが、今回のTICAD9では、外務省・JICA、開発関係諸機関・NGOのみならず、農水省や経産省などの省庁、リモートセンシングやビジネス関連のイベントや展示も多く、日本とアフリカの繋がりの幅が広がっていることを実感した。

（林 玲子 記）